

日本共産党市議団を代表して、高速道路公社への出資金及び建設資金貸付金の繰越明許反対を理由に名古屋市一般会計補正予算に反対の立場から討論します。

当初予算 3,074,500 千円のうちその 75%の 2,300,000 千円を繰越明許する理由は、「設計等に時間を要したこと」、特にうち 9 割が新洲崎 JCT の出入口新設の設計・工事が構造上むづかしい。というものです。

反対理由の第 1 は、黄金出入口、新洲崎 JCT などの事業が、名古屋駅地区など都心部と高速道路とのアクセス性向上を図るという目的であり、「都心への自動車流入を減らし渋滞を解消しよう」という名古屋都市高速の理念に真逆の計画だからです。

反対理由の第 2 は、新洲崎 JCT の設計・工事は、道路公社が直営で実施するのでなく、民間に依存する技術提案交渉方式であり、公社の責任があいまいになるとともに、契約金額が増大する心配があるからです。技術提案交渉方式による手法は、広島高速道路公社での工事で事業費が増大し、事件になっています。名古屋高速の事業は、総額で約 1200 億円の巨額投資ですがさらに増える可能性があります。

今

反対理由の第 3 は、黄金出入口拡張に伴う高齢者等に移転を強いる事業の移転費用が含まれているからです。

理念に反したうえ、無理に住民を移転させる計画は中止することを求め、討論を終わります。(564 字)